

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 10 月 22 日 (2009.10.22)

【公開番号】特開 2008-72376 (P2008-72376A)

【公開日】平成 20 年 3 月 27 日 (2008.3.27)

【年通号数】公開・登録公報 2008-012

【出願番号】特願 2006-248572 (P2006-248572)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

G 0 3 B 17/56 (2006.01)

G 0 3 B 11/00 (2006.01)

G 0 3 B 9/36 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 E

G 0 3 B 17/02

H 0 4 N 5/225 D

G 0 3 B 17/56 Z

G 0 3 B 11/00

G 0 3 B 9/36 Z

H 0 4 N 5/232 E

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 8 日 (2009.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像光学系により結像された被写体像を光電変換する撮像素子と、
前記撮像光学系からの被写体光束を遮断するシャッタ手段と、
前記撮像素子と前記シャッタ手段との間に配置された光学素子と、
前記光学素子に付着した異物を除去するためのクリーニング部材と、
前記クリーニング部材を前記撮像光学系の光軸に垂直な方向に駆動する駆動手段と、
前記駆動手段により前記クリーニング部材を駆動する際に、前記光学素子と前記シャッタ手段との間隔を調整する間隔調整手段とを備える撮像装置。

【請求項 2】

前記間隔調整手段は、前記駆動手段により前記クリーニング部材を駆動する際に、前記光学素子を前記シャッタ手段から離れる方向に移動させることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記間隔調整手段は、前記駆動手段により前記クリーニング部材を駆動する際に、前記シャッタ手段を前記光学素子から離れる方向に移動させることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記間隔調整手段は、前記駆動手段により前記クリーニング部材を駆動する際に、前記

光学素子と前記シャッタ手段との間隔を広げ、

前記駆動手段は、前記クリーニング部材を前記光学素子と前記シャッタ手段との間に挿入させることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記シャッタ手段は、少なくとも 1 つのシャッタ羽根を有し、

前記クリーニング手段は、前記シャッタ羽根に配置され、

前記駆動手段は、前記シャッタ羽根を駆動する駆動手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記間隔調整手段は、前記駆動手段により前記シャッタ羽根を駆動する際に、前記光学素子を前記シャッタ手段に近づける方向に移動させることを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】撮像装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】